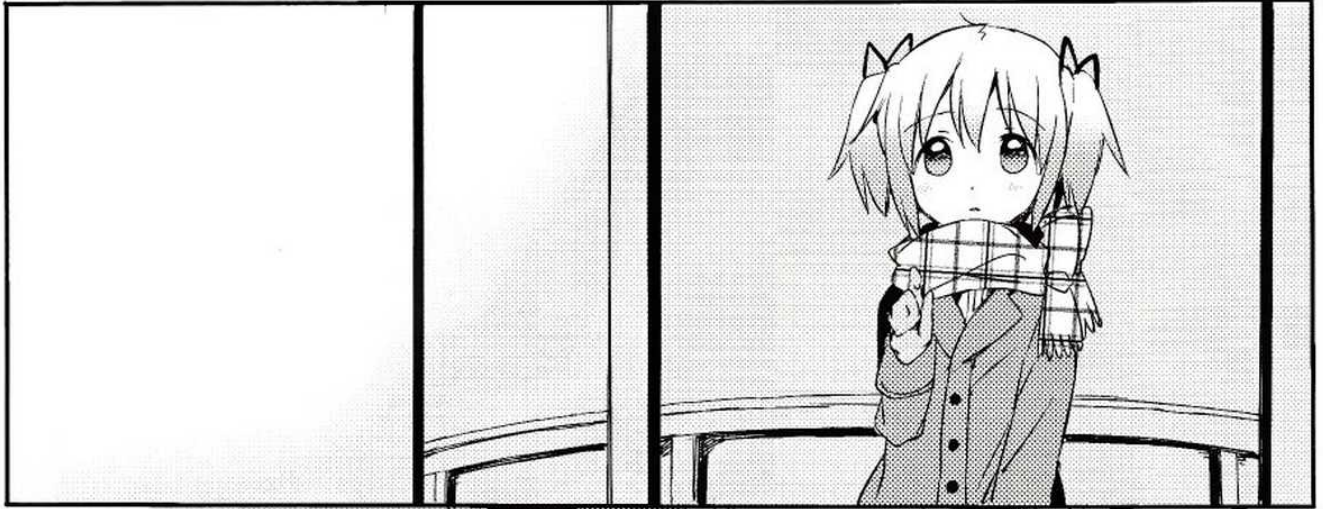
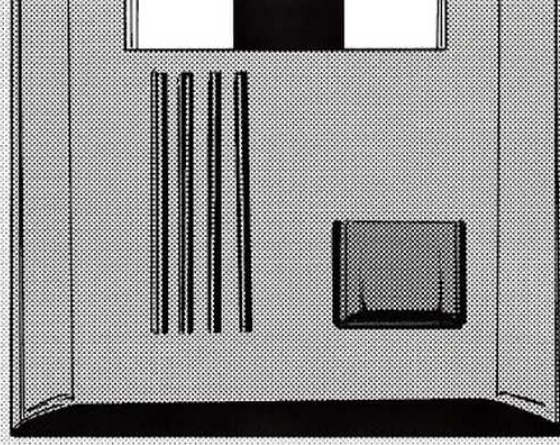




またたきのあいだに

PUELLA MAGI
MADOKA MAGICA
HOMURA*MADOKA



カ
ヤ



そろそろ着く頃かと
待っていたの

こんにちは



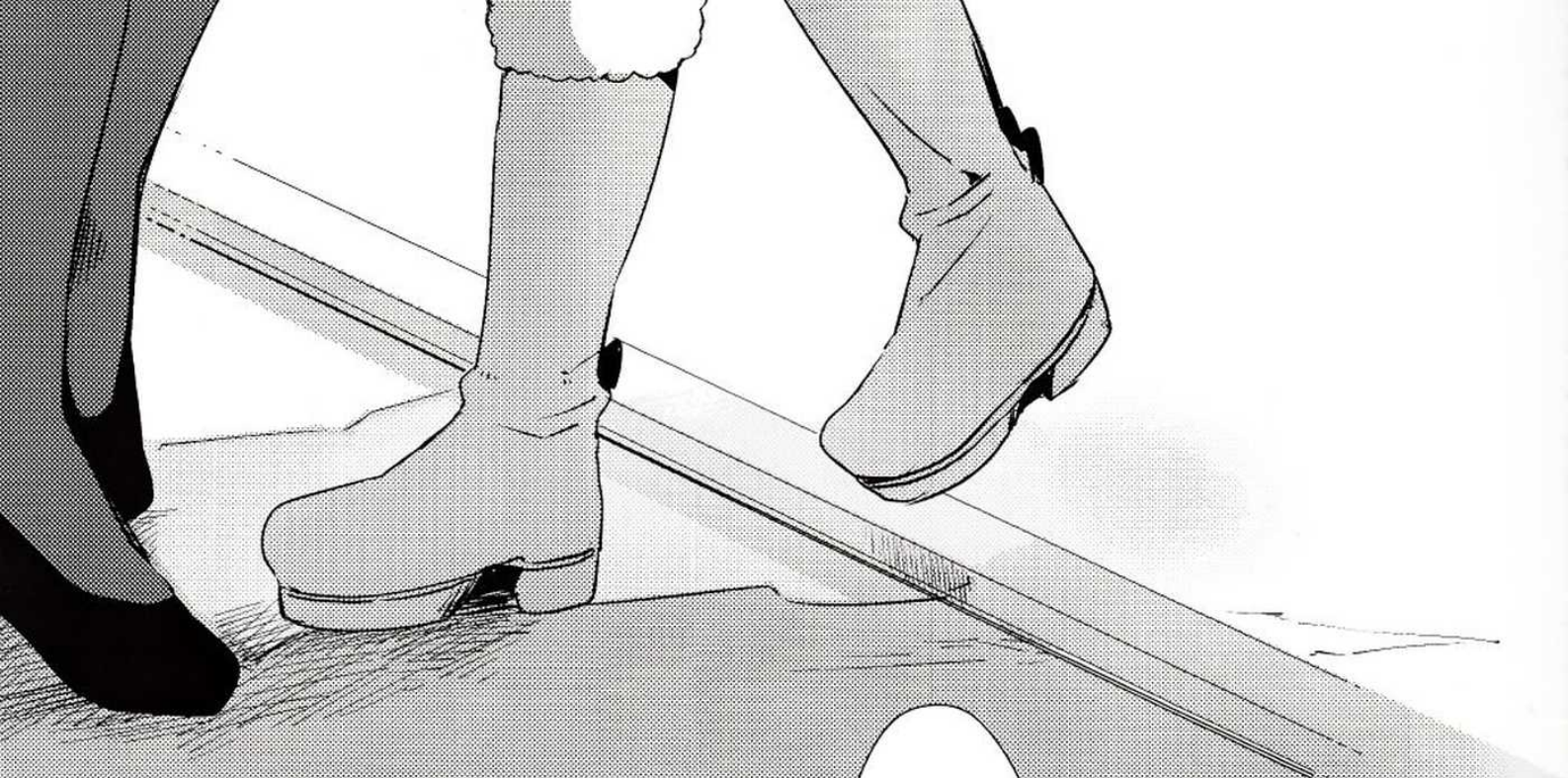
……うん



寒かったでしょう？

どうぞ 上がって

——最初から
こうなることが自然だったみたいに思える



お邪魔します

またたきのあいだに





ふあ…？

あつ

あれ!?

授業は!?

こーら

つつぶして
居眠りなんて
めずらしー

木子^{こぎ}は
あま^{あま}きん

つるせー

昼!

もちろん
食うだろー?

今日はママが
ラウンジだつてさ



ちつら



…



先に行つて
席とつてるからなー

あつ
う、うん!

寒くなきゃ
屋上行けるんだけど

冬だもんね

あと
ついてないかな

…



あたしは
寒くない

ほーら

行くぞー
お風おわらう

あつ

うん!

きん〜?



もしかしてさあ

ほむらと
最近仲良い?



さっきの

瞳と瞳で
会話しちゃってた

さやかちゃんは
見逃さなかった

えっ

どき

ばれてた...!!





ひゃっ

ほいつ
まわれみぎっ



え？

前世からの
縁っていうか

死が二人を分かとうが
また同じ世界で
惹かれあう仲つつーかね



ほむらとお屋
食べてきなよ



教室戻りな

ど どうしたの？
さやかちゃん

やーやー

どうせんか



さつきはほむらのとこ
行きたそうにしてたからさ

まどかが来たいとき
いつでもおいでよ



あ…

あの、迷惑だった？

放課後も
マミさんや杏子ちゃんと
大切な話もしてる
みたいだったし…

は！？
ふめんふめん

そうじゃないって



友達なんだからさ



英語の授業だけ
ちよつと楽で
嬉しいな



授業はついていけてる？

うん
平気だよ

数学は
ちよつと大
だけど…

それに
ほむらちゃんが
上手く教えてくれるから…

や…

あなたの覚えが
いいのよ

もしも
さやかちゃんの言うような
前世っていうもの
あるとしたら

懐かしい気持ちになるのも
当然なのかもしれない

ほむらちゃんの
柔らかい微笑みを見ると

かわいい…
////

…そうね

さっ
さむい
ね!

〜

こんなに寒いと
夏の暑さが恋しく
なっちゃうかも

まどかは
夏の方が好き？

うーん…
冬になると
春や夏の陽射しが
懐かしくなったりするし

夏は暑いから
冬の雪が早く見たいなって
思ったりしてるかも…

ふふ

多分
今と遠いものだからこそ
求めてしまう
のかもしれないわね

こっん

…でも 私は
冬の寒さも
悪くないと思うわ

むしろ冬が来るの
待っていた気さえ

まどか

…うん…



私も

きつと待ってた

冬の日短いから

ほむらちゃんも 私も
心なしか
急かされるみたいに歩いて帰った



お邪魔します

どうぞ

ほむらちゃんの家に来るの
何回目だろう...

部屋、
暖まるまで
少しかかるけれど

だいじょうぶだよ

あーがとっ



まどか

ん？

気づいていたけれど

コート
新しいのね



あ…
うん！
えへへ
実は一日目なんだ

そっなの
よく似合っているわ
でも…



ぬがたれ

…あ、
っん



…まどか

くちあけて？

…そう
いい…

…ちやっ

ちやっ

ちやっ

ちやっ

ん

ぐいぐい

ちやっ

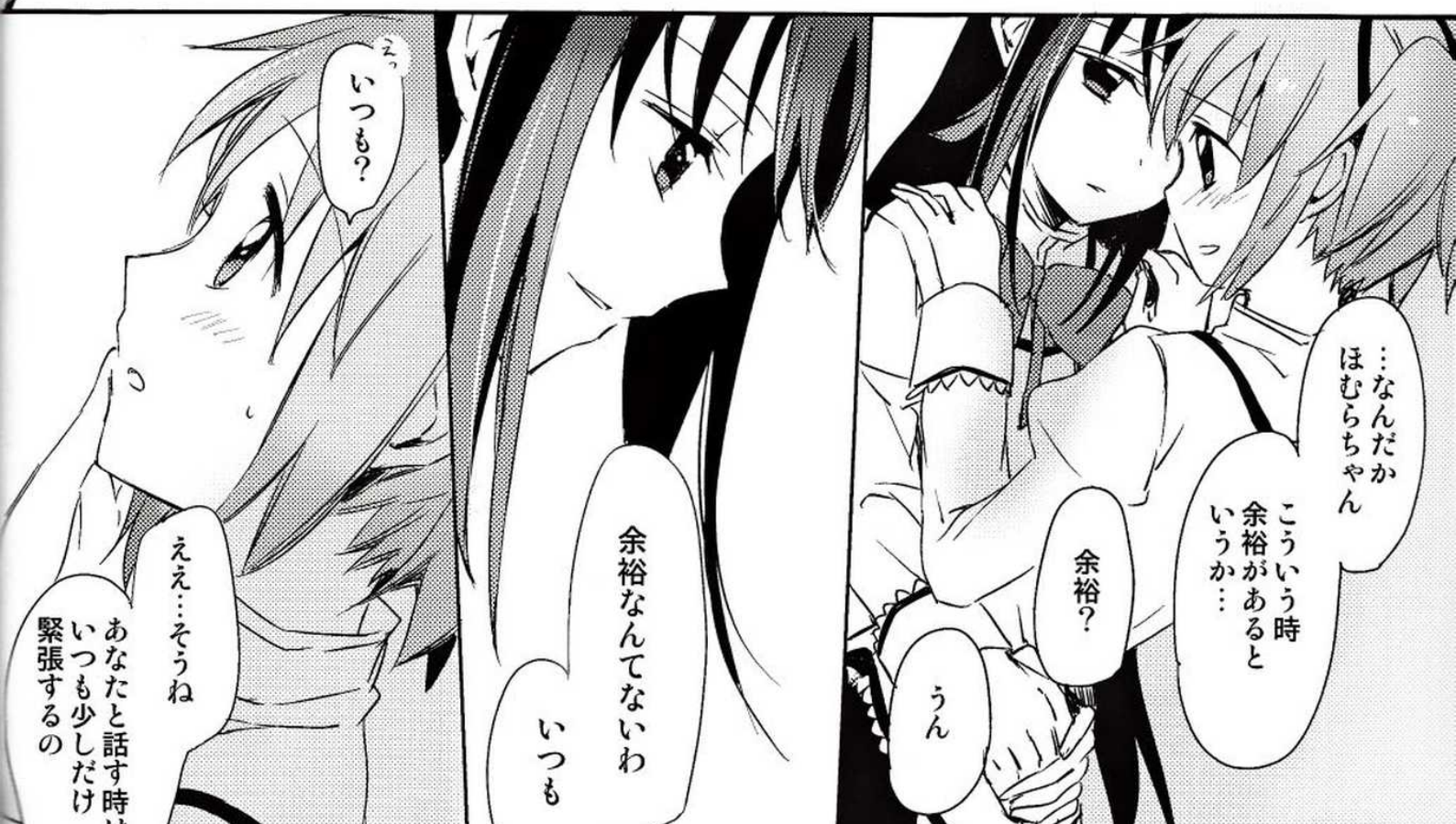
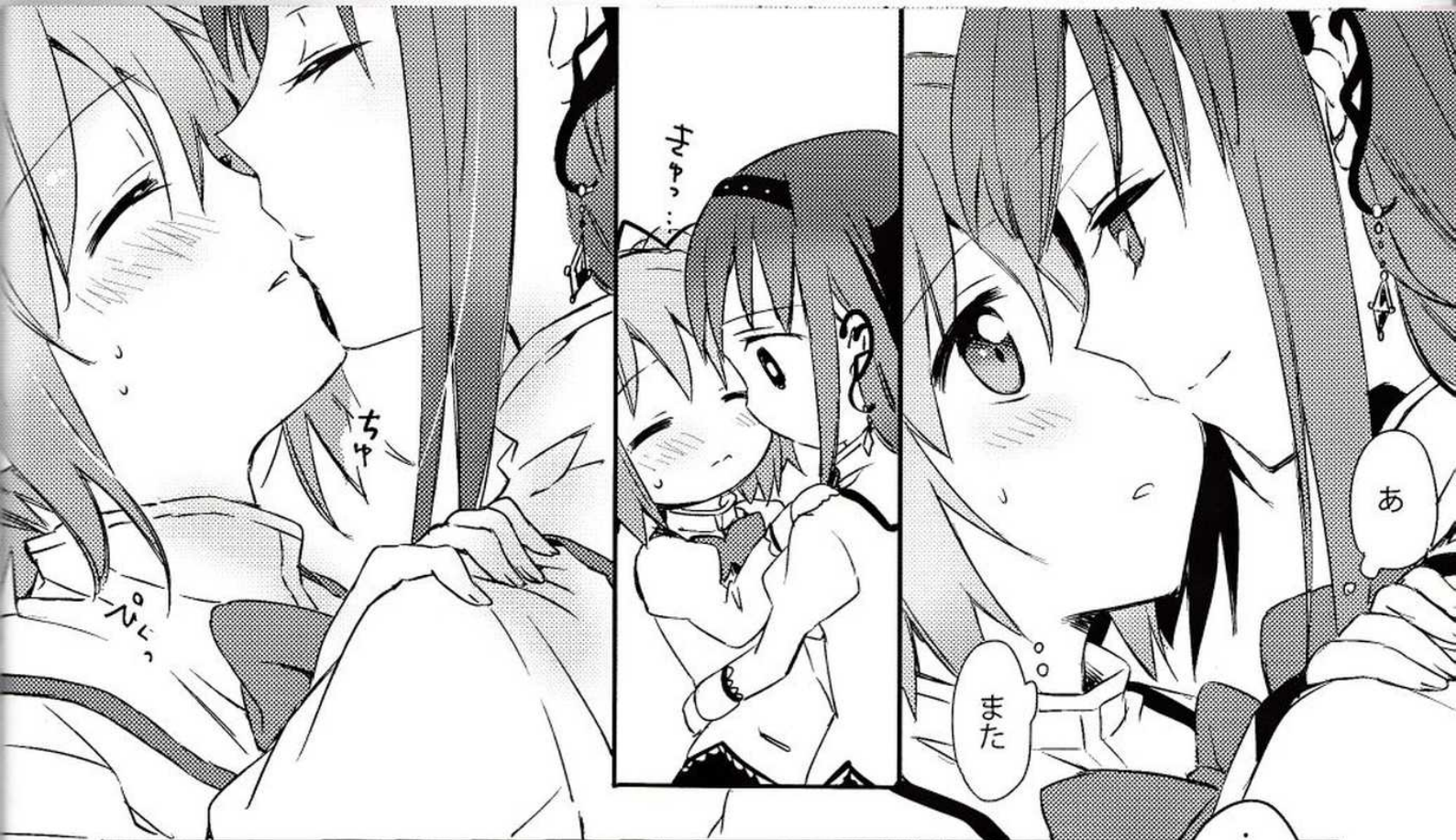


こうしているほうが
暖まるでしょう？

くすくす

はづかしいよ…

可愛い……



何が起こってしまふのか
予測がつかないから
かしら

でも
それも全て含めて
あなたが愛しいの

…よかった

嫌じゃない…

むしろ
こうなることに
違和感がないっていうか

どうしてかな
ほむらちゃんが自然と
からだに溶け込んでくる…

い…
いやじゃない…よ

うれしいかも

嫌じゃない？



うん…
幸せ、だよ

あなたは今 幸せ？

—ほむらちゃんは時々
確かめるように同じ質問を
聞いてくる



…まどか
まどか

うん？

そう答えると
ほむらちゃんはほつとした表情に変わるから

私も同じ答えを繰り返す

その幸せに
私も含まれるのなら

これ以上の幸福なんてないわ

そう…

まどかが幸せで 私嬉しい

その答えに嘘偽りはなくて

嘘じゃない でも なんだか 焦る

わたしは ほんまにまどかちゃん 大好きなの

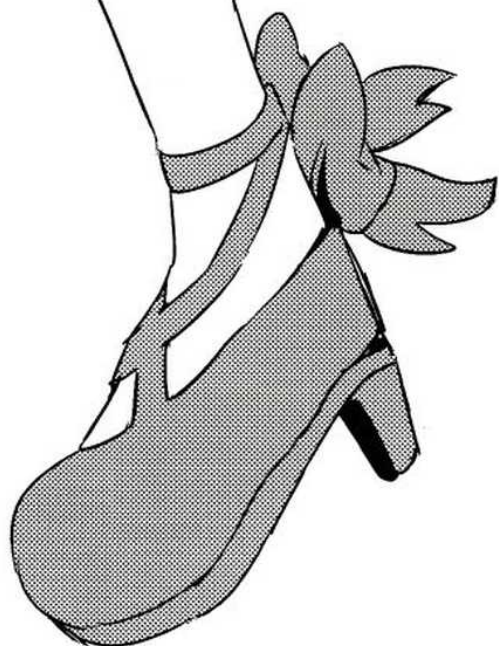
気づいてはいけない

気づかなきゃいけない

意図せず

そんな箱を次々と開けてしまう

本当は気づきたいのかな？





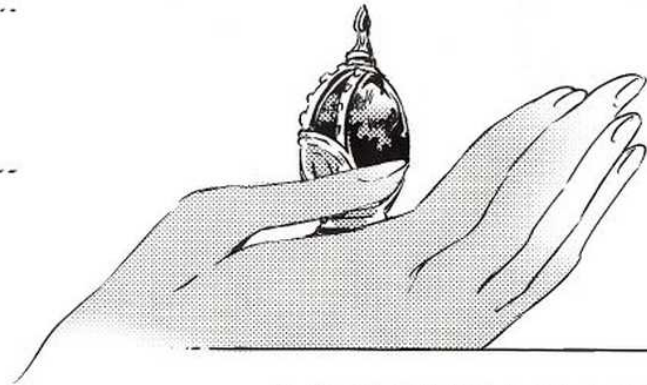


ごめんね

こんなことになるなら
もっとわがままとか
聞いてあげればよかったな



それなら こんな
悲しくて虚しい気持ちにもならなかったかも



ひどいことをさせようとしてるのに
最後まで自分のことばかり考えてる



だから やがて
人とは呼べないものに 姿形を変えていくんだろう

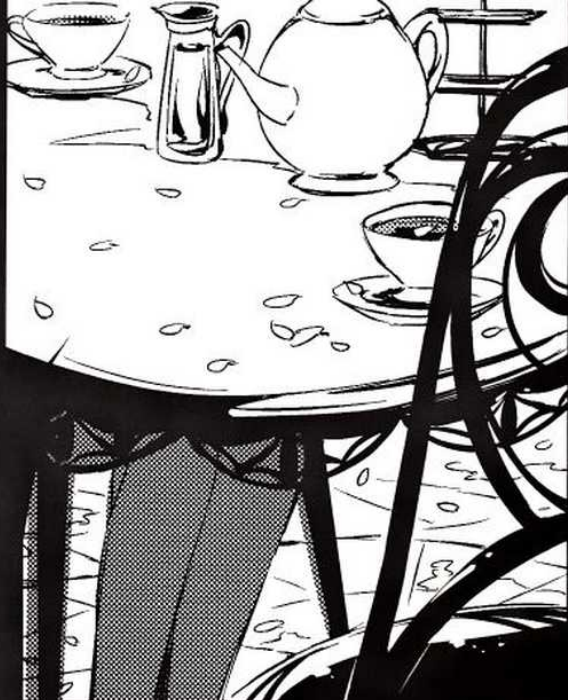


でも
ほむらちゃんはわがままなんて言わないかな

いつも私のことばかり考えてくれて

弱さすら見せないように振舞ってくれて

優しいから



拗ねてしまった？



順番に
可愛がってあげるから



大丈夫よ

あなたのことも
いつも気にかけているわ



全て思い通りに
いくような愛なんて

怠惰で退屈なものね

こうして
ありのままのあなたを
感じることができて幸せ

貴方の存在を
確かめることすらできなかった
あの頃に比べれば

油断はならないけれど



愛してるの
まじか



—前世なんかじゃない

…まどか？

寒い…

…大丈夫？

嫌な夢でも見た？

微笑みを懐かしく思うのは

いつかの
すべての彼女に
そうあってほしかったから

この手は償い？

そして ほむらちゃんは

復讐…

かな…

あなたが
そう思っていないくて

…ううん

なんでもないよ



起こしちゃって
ごめんね





まどかの幸せを願うだけに
尽くしてゐる自分と

こちらの欲望のままにとろけていく
まどかを愛でる自分が

頭の ずっと上の方から
こちらを見下ろして笑ってる

それでも

今この時だけは

壁も

床も

窓も

ドアも

全部 溶けて

世界にまどかと二人きり



熱はないみたい



本当に大丈夫？

どこか
具合が悪かったりは？

ううん

全然大丈夫だから…
心配かけちゃってごめんね

あんまり
ねむねむかたけど…



夢だと言ってしまうと
それまでだけど

自分に覚えのないことだ
やっぱり思えない…

女で

？

…ねぐせ

や、やっぱり
すごくなってる…？

はずかし…

ちんぷんぽんぽん

いつのまに
こうなってるのかしら



…大丈夫

いつも通りでいられる

いつも通り…

でも それでいいのかな？



静かで落ち着いてて

お昼の場所

ん？

ごめんね



いい場所が
見つかってよかったわね



そうだね
人も少なかったし

穴場なのかな…



この廊下を通ると

ほむらちゃんが
話しかけてくれた時の
こと 思い出すよ

ほんととは…
ちよっと 戸惑っちゃったけど

へへへ

でもこうやって
普通にお話できたり
一緒に過ごせるように
なれて よかったな

……私も

またあの日から
こうして貴方の隣を
歩けるなんて

思ってもみなかった…



…「また」って どうして…？



思えば
初めて会ったときも
こんな表情をして

また一人で
秘密を背負い込んでる
みたいだった



やっぱり わたし

前にも
ほむらちゃん
と会った事
がある よね？



今 あの時のように

目を閉じて

次にまぶたを開けた時

まどか

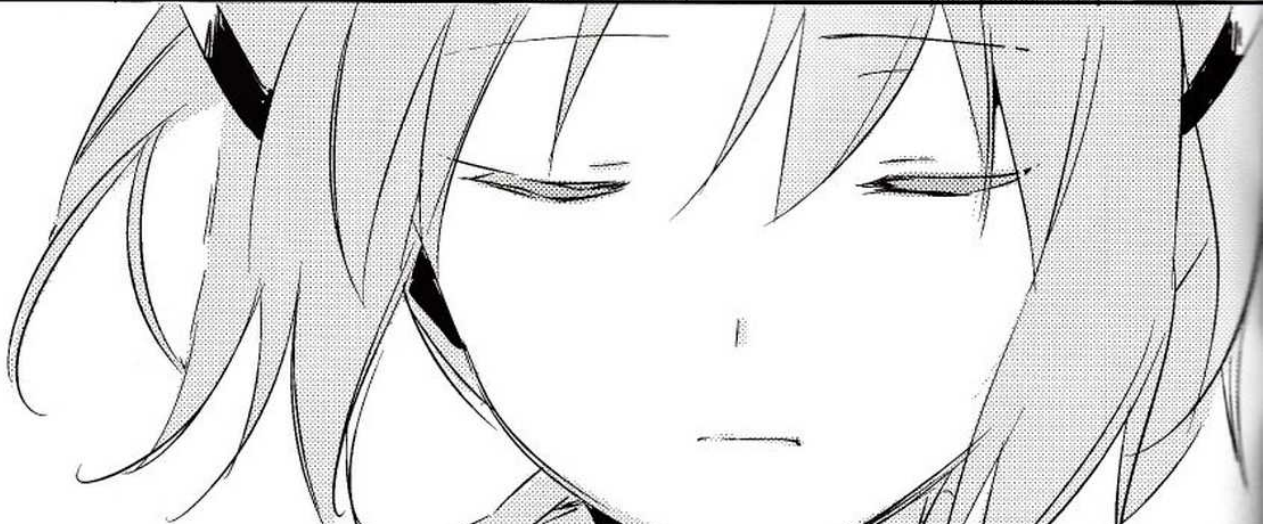
だめ



置き去りに
してしまった輝きが

沢山あるかも
しれないのに

その場所が
今までの世界と同じだと
言い切れる？



それと同じくへんじ

ああ やっぱり

はなれたくない……

ここじゃないどこかへ
行かなきゃいけない

でも気づいてしまった

だからこれだけは
伝えられる

だからもう
ひとりにはさせないから

大丈夫

わたしね ほむらちゃんのこと

大好きで 大切だよ



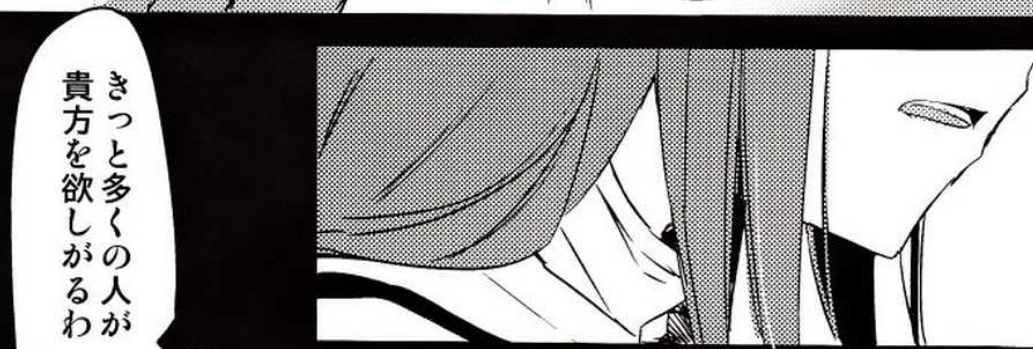


ねえ まどか

それはどういう意味？



あなたは
自分の瞳を
よく見たことはある？





だから…

お願い

ハハハ スー…



ほむらちゃん

私 言ったよね
ひとりにならないって


…うん

実はちょっと嬉しいんだ


できない…

懐かしい姿に
会えた気がして

…信じてほしいな




それに
ほむらちゃんが辛いのなら
私だって幸せにはなれないよ



ほむらちゃんも
そうでしょ？

…あなたは
いつも…そうなのね
優しいから…

ううん



ほむらちゃんだからだよ

もし この手を取ってくれるなら

世界から
切り離されていることには
変わらないのに

かつては
一番招き入れられなかった場所が

まるで楽園のようだった思えたから

今度は ここで

私から 貴方の手を引く





最初に注意書きを書く予定だったのですが、ページ数が足りなく…
キャラ崩壊ですみませんでした ヲ
叛逆のほむまどを書いてみたかったのです。ごめんほむほむ

まどかは記憶のはしっこをちょこちょこ拾い上げていく感じで
円環の理に戻らないことはないだろうと思うのですが
ほむほむがヤダヤダ><って言ったら、
なんとかほむらの幸せを叶える方法もみつけるんじゃないかなーそうだといいなという妄想でした。
あとほむまどになっちゃえばまどか帰れないんじゃない?というのが発端で。
早く結婚すればいいのに!

粗い本ですが、少しでもお楽しみいただければ本当に嬉しいです。
お手にとって下さりありがとうございました…!

『またたきのあいだに』

2013/12/29

印刷 * TOMATO21様 (ありがとうございます)

発行 * CITRON 山田あこ

HP * <http://citron-jamgam.jugem.jp/>

MAIL * citronmamamama@yahoo.co.jp

PIXIV * id=199839



PUELLA MAGI
MADOKA MAGICA

HOMURA*
MADOKA
FANBOOK

2013*CITRON